

全世代の幸せのために

市の政策を連載で紹介いたします。第9回は福祉部。市民全体の福祉施策を担う福祉部の注目施策を紹介します。

注目1 社会で支える生活支援 コロナ禍と福祉施策

緊急的な経済支援

新型コロナウイルス拡大に伴う経済対策として、市では給付金などの事業を行いました。具体的には、国の「特別定額給付金」をはじめ、ひとり親世帯を対象にした給付金事業や、市独自の施策として、子育て世代への給付金事業、生活困窮世帯へ灯油等の助成を行うなど、緊急的な対応を進めました。

新型コロナウイルスの影響による貧困

長引くコロナ禍は、私たちの生活や社会的なつながりにも大きな影響を及ぼしています。また、少子高齢・人口減少により、家族や地域の支え合いが薄れてしまうことが心配されています。

市内でも虐待や社会的孤立、特に近年では新型コロナウイルスの影響もあって生活困窮などの社会問題が増加傾向となっています。実際に、市やまいさば安曇野（社協・生活困窮者自立支援事業）へ寄せられた令和2年度の生活困窮に関わる相談件数は増加しています。

貧困問題は、当事者の力だけでは解決の糸口に結び付かないケースが多くあります。福祉課では、支援が必要な皆さんの身近な相談窓口として、まいさば安曇野や民生委員と連携を図り、問題解決に向けたお手伝いをしていきます。

子どもの貧困対策

「子どもの貧困対策」は今後、市が重点的に取り組むべき施策のひとつです。親世代の貧困問題が解決されな

いままでは、問題が派生して生計を共にする子ども世代にも影響を及ぼします。子どもの貧困は教育格差を生み、将来の所得格差につながる傾向があると言われています。

そのような「負の連鎖」を防ぐために、子どもたちの健やかな成長に向けて学習支援や居場所づくりの取り組みを進めます。

福祉医療費 18歳まで拡大

これまで、子どもの福祉医療給付の対象は中学校卒業時まででしたが、本年4月から、18歳に達する年の年度末までに拡大します。（5頁参照）

全ての子どもたちが安心して医療を受けられる環境づくりを進めます。

注目2 自然保育をブランド化する あづみの自然保育

自然保育を市の強みに

現代の子どもたちは、自然体験、生活体験が不足しがちと言われています。子どもの成長において、自己肯定感や主体性、コミュニケーション能力や共感性、忍耐力や自立心、体力などが十分に養われるためには、子どもの感覚が豊かに刺激される「体験」が重要とされます。市では、社会を生き抜く子どもたちの「生きる力」を育む大切な機会として、安曇野の自然環境が創り出す学びの環境を大切に「自然保育」に取り組んでいます。

安曇野市は、市立・私立を合わせると、「信州型自然保育認定制度（通称・信州やまほいく）」に認定された保育施設が多い自治体の一つです。市立の認定こども園は、全園が「信州やまほいく」認定園で、子どもたちは毎日1時間程度、外遊びや自然観察などの体験を重ねています。また2つの私立保育施設では、さらに長時間の屋外活動を行い、県の「特化型」として、重点的な自然保育に取り組んでいます。

本年4月からは、先駆的に自然保育を取り入れてきた「NPO法人・響育の山里くじら雲」による明科北

子どもを中心に「縁」を結ぶ

子どもたちの体験は、「自然体験」だけでなく、地域との交流を通じて暮らす力を育む「生活体験」も重要と言われます。保育を通じて新たな縁を結び、大人も子どもも「ふるさと安曇野」の愛を育む

ことを目指しています。本年度は感染症対策により、交流も限定的になってしまいましたが、今後、地域との交流を重ねていく予定です。

地域共生社会の実現に向けて

福祉部では、「すべての市民が安心して安全に、いきいきと暮らせるまち」の実現を目指して、主に育児・保育、介護、障がい、生活困窮などの課題に対する相談や支援等の業務を担っています。役割を持って互いに支え合いながら活躍できる「地域共生社会」の実現には、市民、事業者、行政、それぞれが主体となった取り組みが欠かせません。一人一人が大切にされ、誰もが安心して暮らせる地域を共に目指しましょう。

福祉部の仕事

福祉サービスの提供、障がい者・子育て支援など

福祉部は、長寿社会課、福祉課、子ども支援課の3課で構成されます。市民の皆さんが豊かな生活を送れるように、福祉サービスの提供や支援を行っています。例えば、入浴料金割引券交付、障害者手帳の交付や生活保護制度の手続き、保育事業や子育てに関する各種相談などを担当しています。組織改編により本年4月から、福祉部は福祉課、高齢者介護課、障がい者支援課の3課となり、子ども支援課は教育部へと移行します。

福祉部・支所窓口を設置している「日本赤十字社義援金募金箱」。ウクライナ人道危機のほか、災害支援に関わる募金です。皆さまのご協力をお願いします。



本物に触れることで、好奇心や意欲につながります

一口メモ

SNSで「あづみの自然保育」の魅力を発信中！

認定こども園の様子や自然保育への取り組み、安曇野の自然環境の良い場所などの情報を発信しています。今後はYouTubeチャンネルも開設予定です



計画的に市立の園舎を整備

市内には18園の認定こども園と1園の幼稚園（いずれも市立）があります。古い園舎から順番に建て替えや整備を行っています。現在は三郷西部認定こども園を建て替え中です。今後は三郷東部認定こども園の建て替えを行う予定です

部長ミニインタビュー



福祉部長 矢口 泰